

## 戦略2 次世代「やまなし」投資戦略

### 【戦略のねらい】

将来にわたって山梨が発展していくためには、未来を担う子どもたちが、どのような家庭環境にあっても、一人ひとりに向き合った、きめ細かで質の高い教育を受けることができ、その個性を生かしながら主体的に地域で活躍する人材となっていく必要があります。

また、第4次産業革命の進展などにより求められる人材が変化する一方で、人口の減少傾向も続いており、地域経済の活力を維持していくためには、地域の産業と連携し、時代にあった人材の確保、育成を進めていく必要があります。

このため、一人ひとりの個性を生かした教育の推進（政策1）、産業を支える人材の育成・確保（政策2）、文化芸術やスポーツの振興による可能性の発揮（政策3）といった3つの政策により、次代を担う人材の育成・確保を図ります。

## 政策1 一人ひとりの個性を生かした教育の推進

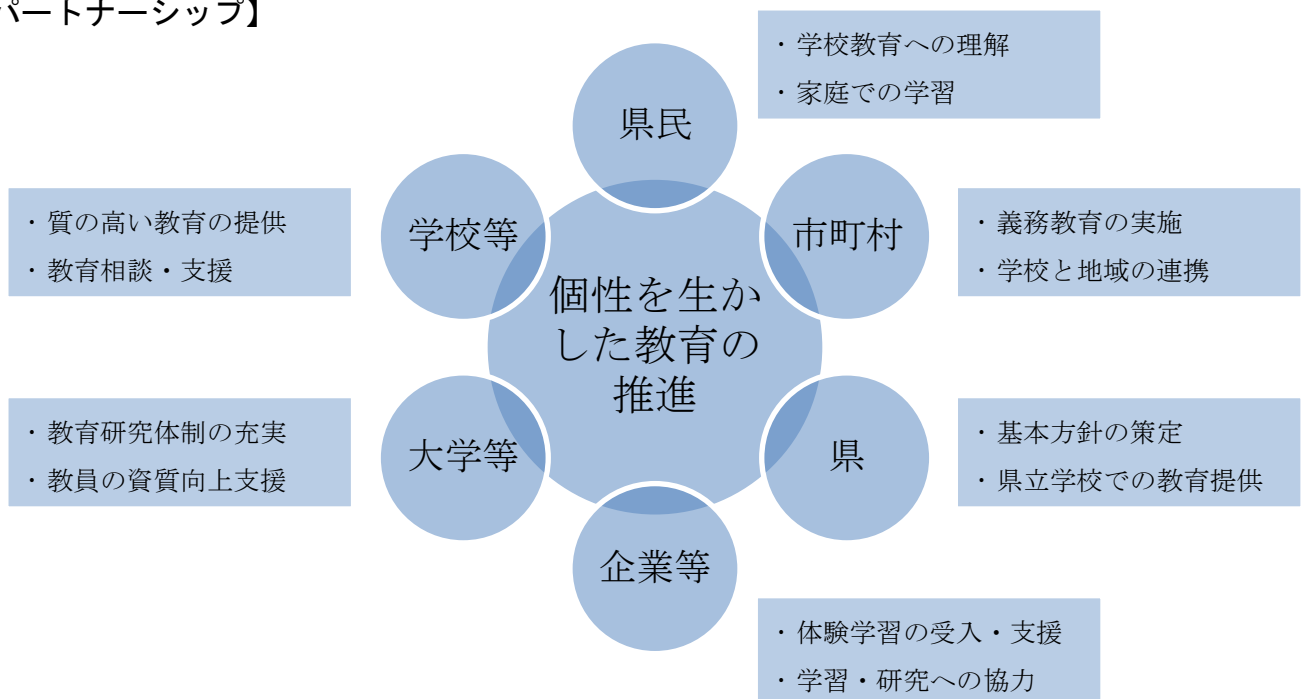
### 【政策の基本的な考え方】

家庭の経済環境などによる教育格差を生じさせることなく、一人ひとりに向き合ったきめ細かで質の高い教育を実現するためには、教員の資質向上を図るとともに、教員がきちんと子どもと向き合うための時間を確保し、よりきめ細かな指導を行っていく必要があります。

このため、学校教育における教員の負担軽減や相談支援体制の強化とあわせて、公立の小中学校における少人数教育の計画的、段階的導入により、教育環境の充実を図り、一人ひとりに向き合った、きめ細かで質の高い教育を受けることができる環境の実現を図ります。

また、幼児期は成長の土台を作る貴重な時期であることから、小学校就学前から、本県の豊かな自然環境を生かした活動などを通じて、子どもたちの知的好奇心や感性を育む幼児教育の充実を図ります。

### 【パートナーシップ】



### 【期待される政策効果】

幼児期からの教育環境が充実し、教員が子ども一人ひとりとじっくりと向き合う体制が整備され、それぞれの個性に応じたきめ細かな指導が行われています。

1 知事と教育委員会の連携による教育行政の推進

(施策の目指す姿)	
<p>&lt;現在&gt;</p> <p>子どもたちの個性や能力に応じ、一人ひとりに向き合ったきめ細かで質の高い教育を支える環境の整備が十分でない。</p>	<div style="text-align: center; font-size: 2em; color: blue;">➔</div> <p>&lt;将来&gt;</p> <p>知事と教育委員会が本県の教育について、あるべき姿を共有し、一丸となって、より民意に沿った質の高い教育等に取り組んでいる。</p> <p>R4 知事と教育委員会が教育大綱に沿って着実に教育行政に取り組んでいる。</p>
(施策の概要)	
<p>一人ひとりに向き合ったきめ細かで質の高い教育行政を推進するため、知事と教育委員会が、本県の教育についてのあるべき姿を共有し、連携して取り組みます。</p>	





( 私学・科学振興課 )

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R1	R2	R3	R4
○ 教育に関する大綱の策定	策定	実施		
○ 総合教育会議の開催	開催			


2 25人を基本とする少人数教育の推進

(施策の目指す姿)	
<p>&lt;現在&gt;</p> <p>小学校1, 2年生の30人学級、小学校3～中学校3年生の35人学級が実現しているが、いじめ・不登校など生徒指導上の教育課題が複雑化している。</p>	<div style="text-align: center; font-size: 2em; color: blue;">➔</div> <p>&lt;将来&gt;</p> <p>更なる少人数教育が推進され、一人ひとりの子どもの可能性を最大限発揮できる教育環境が実現している。</p> <p>R4 25人を基本とする少人数教育がいずれかの学年で実現している。</p>
(施策の概要)	
<p>一層きめ細かで質の高い教育を実現するため、学校関係者等による検討を経て、計画的・段階的に25人を基本とする少人数教育の推進を図ります。</p>	







( 教：総務課／義務教育課 )

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R1	R2	R3	R4
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「25人を基本とする少人数教育」の計画的・段階的な導入方針の検討</li> <li>○ 少人数教育の実現に向けた取り組みの実施</li> </ul>	 検討・策定	 検討・策定	 検討	
		 実施		

3 学力向上に向けた取り組みの推進

(施策の目指す姿)	
<p>&lt;現在&gt;</p> <p>国で実施している「全国学力・学習状況調査」において、全教科合計での平均正答率が全国平均に近づき、ほぼ同等ではあるが、全国平均を下回っている教科がある。</p> <p>H30 「全国学力・学習状況調査」の全国平均正答数との比較割合 99.6%</p>	
<p>&lt;将来&gt;</p> <p>学力向上に関する取り組みが推進され、「全国学力・学習状況調査」における平均正答率が、全ての教科において、全国平均を上回っている。</p> <p>R4 「全国学力・学習状況調査」の全国平均正答数との比較割合 100%超</p>	
(施策の概要)	
<p>児童生徒の学力向上を図るため、全国学力・学習状況調査等で得られた課題や成果を踏まえ、教員の授業力を高める取り組みや、家庭学習の確保及び地域連携の推進に努めます。</p>	

( 義務教育課 )

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R1	R2	R3	R4
○ 県独自の学力把握調査の実施				
○ 考える力、記述の力を高めるための授業改善サイクルの確立				
○ 新学習指導要領における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の実施	 研究	 実施		
○ 実用英語技能検定受検に対する支援など中学生の英語力向上への取り組みの実施				
○ 家庭学習の確保や地域との連携による取り組みの推進				

4 いじめ対策・不登校支援のための体制整備

(施策の目指す姿)	
<p>&lt;現在&gt;</p> <p>いじめ認知件数や不登校児童生徒数が年々増加してきている。また、市町村が運営する教育支援センターの設置が推進されているが、県や関係機関を含めた不登校支援体制が十分に整っていない。</p> <p>H29 いじめ解消率 小中学校 99.1%                  高等学校 95.4%</p>	<div style="text-align: center; font-size: 2em; color: blue;">➔</div> <p>&lt;将来&gt;</p> <p>いじめを受けた児童生徒や不登校児童生徒が十分な相談や指導等を受けられているとともに、県と市町村や関係機関との連携が十分図られている。</p> <p>R4 いじめ解消率 小中学校 99.4%                  高等学校 98.2%</p>
(施策の概要)	
<p>各学校におけるいじめ・不登校の実態に応じたよりきめ細やかな対策を行うため、スクールカウンセラーの配置を拡充するとともに、市町村と連携した不登校支援のための環境づくりを進めます。</p>	

( 義務教育課／高校教育課 )

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R1	R2	R3	R4
○ スクールカウンセラーの配置拡充				
○ 市町村と連携した不登校支援のための環境づくり	調査・検討	実施		

5 学校における働き方改革の推進

(施策の目指す姿)	
<p>&lt;現在&gt;</p> <p>校務分掌の負担増、出張・研修会への参加、休日の部活動指導、各種調査等により、長時間勤務の常態化や年次有給休暇取得の困難さなどが見られる。</p> <p>H29 月当たり正規の勤務時間を80時間以上超過する教育職員の割合 32.5%</p>	<div style="text-align: center; font-size: 2em; color: blue;">➔</div> <p>&lt;将来&gt;</p> <p>校務・部活動指導の負担軽減や会議・研修・調査などの縮減が図られ、教員の多忙化が改善し、子どもたちにより効果的な教育活動が行われている。</p> <p>R4 月当たり正規の勤務時間を80時間以上超過する教育職員の割合 0%</p>
(施策の概要)	
<p>教員の業務改善及び負担軽減のため、「教員の多忙化改善に向けた取組方針」や「部活動ガイドライン」等に基づく取り組みを推進します。</p>	

教：総務課／スポーツ健康課

義務教育課／高校教育課

( 高校改革・特別支援教育課 )

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R1	R2	R3	R4
○ 「取組方針」に基づく各種施策の実施	➔ 実施	➔ 実施・改定	➔ 実施	
○ 「山梨県立学校の教師の勤務時間の上限に関する方針」の策定	➔ 検討・策定	➔ 運用		
○ 「部活動ガイドライン」に基づく適切な部活動の実施	➔ 実施			
○ 小中学校における統合型校務支援システムの導入	➔ 入札・構築	➔ 導入・実施	➔ 実施	

6 ICTを活用した人材育成

(施策の目指す姿)	
<p>&lt;現在&gt;</p> <p>本県の全ての生徒がICTの活用により、質の高い教育を受けるための環境が十分に整備されていない。</p>	<div style="text-align: center; font-size: 2em; color: blue;">➔</div> <p>&lt;将来&gt;</p> <p>ICTの活用により、全ての生徒が校種・地域・学校規模に関わらない質の高い教育を受けている。</p> <p>R4 新学習指導要領で示された「情報活用能力」の育成に対応しうる環境が整備されている。</p>
(施策の概要)	
<p>Society 5.0 時代を生きる力を育むため、山梨県立学校ICT活用教育推進ビジョンを策定するとともに、ビジョンを踏まえた教員の研修や環境の整備を行います。</p>	

( 高校教育課 )

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R1	R2	R3	R4
○ 山梨県立学校ICT活用教育推進ビジョンの策定	➔			
○ ビジョンを踏まえた教員の研修・環境の整備	➔			



7 グローバル人材の育成

(施策の目指す姿)	
<p>&lt;現在&gt;</p> <p>豊かな語学力・コミュニケーション能力、主体性・積極性、異文化理解の精神を身につけたグローバル人材の育成が十分に進んでいない。</p> <p>H30 高等学校卒業段階でCEFR A2レベル相当以上を達成する生徒の割合 37.3%</p>	<div style="text-align: center; font-size: 2em; color: blue;">➔</div> <p>&lt;将来&gt;</p> <p>子どもたちが、外国語によるコミュニケーション能力を身に付け、異文化理解に向けた育成基盤が整えられている。</p> <p>R4 高等学校卒業段階でCEFR A2レベル相当以上を達成する生徒の割合 42%</p>
(施策の概要)	
<p>国際的に活躍できるグローバル人材を育成するために、小中学校と外国語教育や国際理解教育の連携を図り、学びを接続させるとともに、外国語によるコミュニケーション能力、幅広い教養、問題解決能力等の国際的素養、異文化理解の精神を高校生に身に付けさせる取り組みを推進します。</p>	

( 高校教育課 )

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R1	R2	R3	R4
○ 教員の英語指導力向上に向けた研修の実施				
○ 高校生の海外留学の促進				
○ 県立高校における国際バカロレア (IB) の実施	認定			

※ CEFR A2 レベル

CEFR とは、「ヨーロッパ言語参照枠」を指す。カリキュラムの手引の作成、学習指導教材の編集、外国語運用能力の評価などのために、2001年に欧州評議会が発表した。A2は、CEFRにおけるレベル(A1～C2)を表し、英検準2級レベル相当に該当する。

※ 国際バカロレア (IB)

スイスのジュネーブに本部を置く国際バカロレア機構が提供する国際的な教育プログラム

8 公立高等学校等の就学支援

(施策の目指す姿)	
<現在> 公立高等学校や特別支援学校に通う生徒の保護者への支援制度の充実に取り組んでいる。	<div style="text-align: center; font-size: 2em; color: blue;">➔</div> <将来> 全ての生徒が世帯所得の多寡に関係なく、意欲を持って学べる教育環境が整っている。 R4 きめ細かな支援により、低所得世帯の生徒が安心して希望する教育を受けている。
(施策の概要)	
公立高等学校や特別支援学校に通う生徒の保護者等の経済的負担を軽減し、生徒が安心して就学できるようにするため、就学に要する経費等に対して支援します。	

高校教育課  
 ( 高校改革・特別支援教育課 )

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R1	R2	R3	R4
<b>【公立高等学校】</b> ○ 就学支援金 (学び直しを含む) による支援 ○ 山梨県高等学校等奨学給付金による支援 ○ 入学準備サポート給付金による支援 ○ 低所得世帯への県立高等学校の入学料の免除	支援			
<b>【特別支援学校】</b> ○ 特別支援教育就学奨励費による支援	支援			

9 魅力ある高校づくりの推進

(施策の目指す姿)	
<p>&lt;現在&gt;</p> <p>教育に対するニーズの多様化、少子化、グローバル化、ICTの普及など、教育を取り巻く状況が著しく変化している。</p>	<div style="text-align: center; font-size: 2em; color: blue;">➔</div> <p>&lt;将来&gt;</p> <p>子どもたちが、夢や希望を持ち意欲的に学ぶことができる教育環境が整い、ふるさとに誇りを持ちながら地域や世界で活躍する人材が育成されている。</p> <p>R4 「県立高等学校長期構想」(仮称)に基づく事業が着実に検討・実施され、魅力ある高校づくりが進んでいる。</p>
(施策の概要)	
<p>外国籍生徒の受け入れや不登校生徒等の高校進学対策、地域における学校のあり方、コミュニティスクール制度の導入などについて検討を行い、時代に適応した魅力ある高校づくりを推進するため、「県立高等学校長期構想」(仮称)を策定・実施します。</p>	

高校教育課  
( 高校改革・特別支援教育課 )

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R1	R2	R3	R4
○ 「県立高等学校長期構想」(仮称)の策定・実施	<div style="text-align: center; color: blue;">➔</div> <p>構想策定</p>	<div style="text-align: center; color: blue;">➔</div> <p>実施</p>		

10 一人ひとりに応じた特別支援教育の推進

(施策の目指す姿)	
<p>&lt;現在&gt;</p> <p>国が障害者の権利に関する条約に署名した後、障害児(者)や特別支援教育をめぐる情勢が大きく変化するとともに、特別支援教育の対象となる児童生徒が大幅に増加している。</p>	<div style="text-align: center; font-size: 2em; color: blue;">➔</div> <p>&lt;将来&gt;</p> <p>一人ひとりに応じた専門性の高い特別支援教育が実践され、障害のある者とない者とが共に生き生きと学ぶインクルーシブ教育システムが確立している。</p> <p>R4 「新やまなし特別支援教育推進プラン」(仮称)に基づき、計画的に本県の特別支援教育の充実が図られている。</p>
(施策の概要)	
<p>児童生徒一人ひとりの障害の状態やニーズに応じて、その可能性を最大限に伸ばすことができる切れ目のない多様な学びの場を整備するため、新たな特別支援教育推進プラン(仮称)を策定・実施します。</p>	

( 高校改革・特別支援教育課 )

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)			
	R1	R2	R3	R4
○ 「新やまなし特別支援教育推進プラン」(仮称)の策定・実施	<div style="text-align: center; color: blue;">➔</div> <p>計画策定</p>	<div style="text-align: center; color: blue;">➔</div> <p>実施</p>		


1.1 私立学校の振興

(施策の目指す姿)	
<p>&lt;現在&gt;</p> <p>私立学校の教育の充実及び向上並びに経営の安定化を図り、意欲と能力のある生徒、学生が経済的理由により進学を断念することがないように、安心して教育を受けることができる環境が十分ではない。</p>	<div style="text-align: center; font-size: 2em; color: blue;">➔</div> <p>&lt;将来&gt;</p> <p>私立学校が、建学の精神に基づき、安定的な学校経営の下、特色ある教育活動が展開されている。</p> <p>また、就学等に関する保護者等の経済的負担の軽減が図られ、質の高い教育が受けられる環境が実現されている。</p> <p>R4 私立学校において特色ある教育活動が促進され、就学等支援制度が充実している。</p>
(施策の概要)	
<p>特色ある教育を行う私立学校の教育条件の維持向上や、学校運営の安定化を図るため、必要な支援を行います。</p> <p>また、高等学校のほか、専修学校においても保護者等の経済的負担を軽減し、生徒等が安心して就学等できるよう支援します。</p>	







( 私学・科学振興課 )

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R1	R2	R3	R4
○ 私立学校の運営等に対する支援	➔			
○ 就学支援金等による私立高等学校への支援	➔			
○ 高等教育 (私立専修学校) への修学支援	要件確認	➔		


1.2 自然保育の導入の促進

(施策の目指す姿)	
<p>&lt;現在&gt;</p> <p>自然保育に取り組みたい保育所等が多いが、子どもの安全性の確保の心配や職員の負担等の課題により、十分に活動できていない。</p> <p>愛宕山こどもの国が設置以来48年を経過し、錆の発生や表土流出等、遊具や施設に経年劣化が見られる。</p>	
<p>&lt;将来&gt;</p> <p>豊かな自然環境を生かしながら、子どもに自然と触れあう機会が十分に提供され、足腰の強い子どもが育成されている。</p> <p>R4 自然保育の活動量が増えた保育所等の数 100園(H31比)</p>	
(施策の概要)	
<p>自然保育の導入を推進するため、人材育成や普及啓発、表彰等を行います。</p> <p>また、自然保育の拠点として活用できるよう、愛宕山こどもの国の再整備を行います。</p>	




( 子育て政策課 )

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R1	R2	R3	R4
○ 研修の実施、アドバイザーの派遣				
○ シンポジウムの開催				
○ 優良事例の表彰及び紹介				
○ 愛宕山こどもの国の再整備	 計画策定	 設計	 再整備	

1.3 次代のやまなしを支える人材の育成

(施策の目指す姿)	
<p>&lt;現在&gt;</p> <p>グローバル化の進行や科学技術の進展が加速する社会の中で、次代を担う人材の育成が進んでいない。</p> <p>H30 高校生・大学生（大学院含む）の海外留学への支援及び若手研究者への研究支援の人数 計27名</p>	
<p>&lt;将来&gt;</p> <p>グローバルな視野、高度な知識・技術などをもつ若者や若手研究者の育成が進み、各分野で活躍している。</p> <p>R4 高校生・大学生（大学院含む）の海外留学への支援及び若手研究者への研究支援の人数 H30と同程度を維持</p>	
(施策の概要)	
<p>次代のやまなしを支える人材育成を図るため、「山梨県大村智人材育成基金」を活用し、中高生の優秀な研究等を表彰するとともに、若者の海外留学や若手研究者の研究環境の充実などに向けた取り組みを支援します。</p>	

私学・科学振興課  
( 義務教育課／高校教育課 )

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R1	R2	R3	R4
○ 若者の海外留学に対する支援				
○ 若手研究者の研究活動に対する支援				
○ 中高生の優秀な研究等に対する表彰				
	実施			
	実施			
	実施			

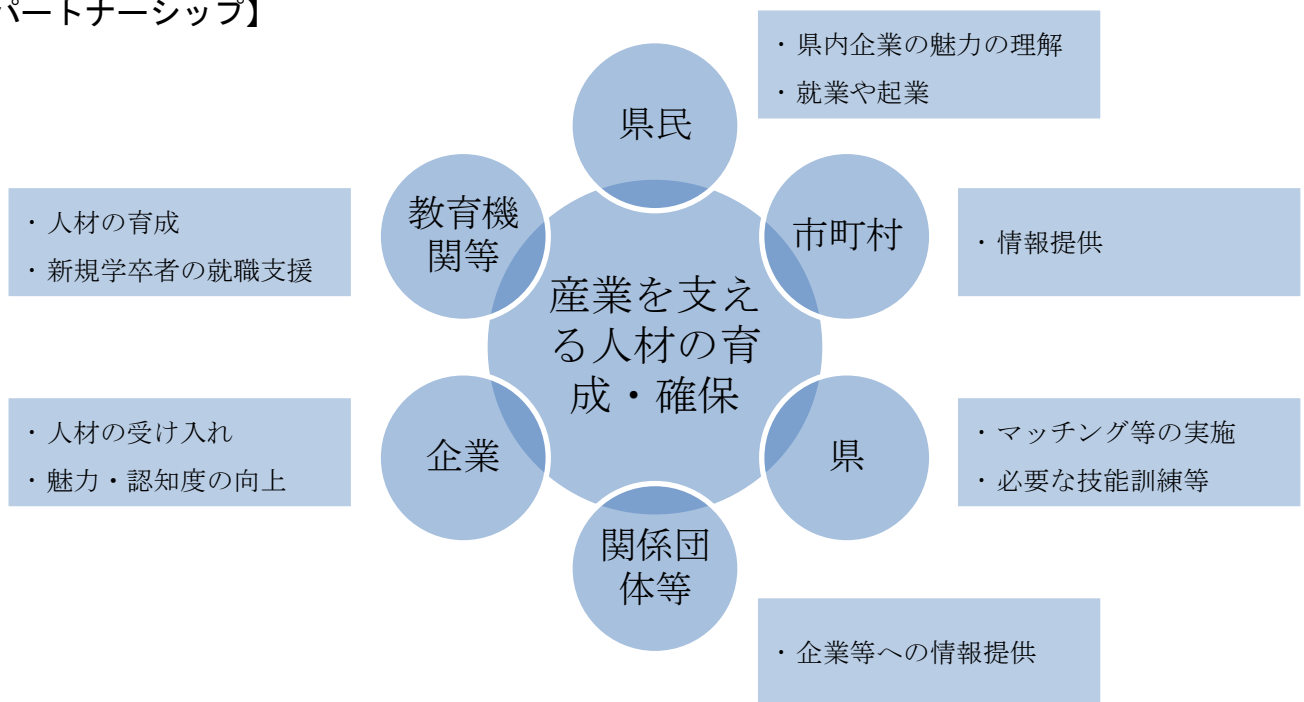
## 政策2 産業を支える人材の育成・確保

### 【政策の基本的な考え方】

産業構造が大きく変化する中で、求められる人材は大きく変化しており、それに対応した人材育成を図るとともに、若者の県外への流出を防ぎ、県内への定着を図るために、県内企業への就職を促していく必要があります。

このため、既存の産業人材育成のための教育機関等を十分に活用する中で、産業界との連携などにより、地域の産業に求められる技術等を習得する機会を提供し、地元で活躍する人材の育成を進めるとともに、山梨で働く魅力を周知し、県外ではなく県内で就職することや、UI ターンを促すことなどにより、必要な人材の確保を図ります。

### 【パートナーシップ】




### 【期待される政策効果】









時代の変化に対応した産業人材の育成が図られるとともに、県内への就職や起業が増加し、豊富な人材が活発な事業活動を支えています。



1 キャリア教育の充実

(施策の目指す姿)	
<p>&lt;現在&gt;</p> <p>高校卒業までに求められる社会的・職業的自立に向けた資質・能力の育成が十分に図られていない。</p> <p>H30 キャリア・パスポートを活用している県立高校の割合 0%</p>	
<p>&lt;将来&gt;</p> <p>家庭や地域住民、企業や関係諸機関との連携の下、生徒が郷土への理解を深め、社会的・職業的自立に向けて、必要な基盤となる資質・能力の育成が図られている。</p> <p>R4 キャリア・パスポートを活用する県立高校の割合 100%</p>	
(施策の概要)	
<p>自己を理解し自ら学ぼうとする力、郷土への理解を深め他者と協働し積極的に社会を形成する力、多様な課題に主体的に対応する力、具体的なビジョンに基づくキャリアプランニング能力を育成するため、体系的・系統的なキャリア教育の実施、キャリア・パスポートの活用等を推進します。</p>	

( 高校教育課 )

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R1	R2	R3	R4
○ キャリア・パスポートの利活用	 検証	 実用・検証	 実用・検証	 実用・検証
○ 体験型学習によるキャリア形成支援	 実施	 実施	 実施	 実施

※ キャリア・パスポート

就業体験、進路指導などキャリア教育に関わる活動について、学びのプロセスを記述し振り返ることができる記録

2 産業人材の育成に向けた高校教育の充実

(施策の目指す姿)	
<p>&lt;現在&gt;</p> <p>本県の製造業を中心とした産業界では、団塊世代の熟練技術者の退職や若者のものづくり離れが進んでいる。</p>	<div style="text-align: center; font-size: 2em; color: blue;">➔</div> <p>&lt;将来&gt;</p> <p>産業界との連携・協働や方針に基づく事業の具体化により、専門的な知識・技能を身に付け、地域や機械電子産業界等から求められる人材が育成・輩出され、山梨県の産業発展を支えている。</p> <p>R4 専攻科第1期卒業生の県内企業への就職率 100%</p>
(施策の概要)	
<p>地元就職する人材を育成するため、高校における新たな職業教育のあり方について検討するとともに、機械電子産業界等との連携を強化し、工業系高校生の技術力を向上させることなどにより、生徒の地域産業の魅力に対する理解を深め、本県の産業発展のために活躍できる人材を輩出します。</p>	

学校施設課／高校教育課  
( 高校改革・特別支援教育課 )

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R1	R2	R3	R4
○ 高校における新たな職業教育のあり方についての方針策定・実施	➔ 検討	➔ 方針策定	➔ 実施	
○ 甲府工業高校専攻科（創造工学科）の設置	➔ 準備	➔ 設置・育成		

3 県立大学における県内産業界を支える人材育成

(施策の目指す姿)	
<p>&lt;現在&gt;</p> <p>県立大学は、保健・医療・福祉の向上や地域振興など社会の変化に応じて地域が抱える諸課題の解決に貢献できる優秀な人材を地域に供給する役割を担っている。</p> <p>H30 県立大学卒業生の県内就職率 50%</p>	<div style="text-align: center; font-size: 2em; color: blue;">➔</div> <p>&lt;将来&gt;</p> <p>県立大学から県内産業界に対し、より多くの優秀な人材が輩出され、県立大学卒業生の県内就職率が更に向上している。</p> <p>R3 県立大学卒業生の県内就職率 50%以上</p>
(施策の概要)	
<p>県立大学から観光産業などの県内産業、福祉・教育・看護分野などへ優秀な人材を輩出するため、中期目標に定める等、県内就職率の向上に向けた取り組みを推進します。</p>	



( 私学・科学振興課 )

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R1	R2	R3	R4
○ 第三期 (令和4～9年度) 中期目標の策定		<div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;"> <div style="width: 20px; height: 20px; background-color: blue; margin-right: 5px;"></div> <div style="text-align: center;">➔</div> </div> <p style="text-align: center;">検討</p>	<div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;"> <div style="width: 20px; height: 20px; background-color: blue; margin-right: 5px;"></div> <div style="text-align: center;">➔</div> </div> <p style="text-align: center;">策定</p>	
○ 県立大学生の県内就職への支援	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 10%;"></div> <div style="width: 80%; height: 20px; background-color: blue;"></div> <div style="width: 10%;"></div> </div> <p style="text-align: center;">支援</p>			
○ 高等教育 (県立大学) への修学支援	<div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;"> <div style="width: 20px; height: 20px; background-color: blue; margin-right: 5px;"></div> <div style="text-align: center;">➔</div> </div> <p style="text-align: center;">要件確認</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 10%;"></div> <div style="width: 80%; height: 20px; background-color: blue;"></div> <div style="width: 10%;"></div> </div> <p style="text-align: center;">支援</p>		


4 U I ターン就職の促進

(施策の目指す姿)	
<p>&lt;現在&gt;</p> <p>若者の大都市圏・大企業志向が強まっていることから、将来の本県の産業を担う若年層の県外流出が進行している。</p> <p>H30 県出身学生（新卒者）のUターン就職率 26.5%</p>	<div style="text-align: center; font-size: 2em; color: blue;">➔</div> <p>&lt;将来&gt;</p> <p>県内企業の成長に必要な人材が確保されている。</p> <p>R4 県出身学生（新卒者）のUターン就職率 30%</p>
(施策の概要)	
<p>県内の産業活動を支える人材を確保するため、やまなし暮らし支援センター及びやまなしU I ターン就職支援センターにおいて就職支援を行うとともに、県内企業や学校等との連携により、U I ターン就職につなげる機会の拡大を図ります。</p>	








( 労政雇用課  
地域創生・人口対策課 )

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R1	R2	R3	R4
○ やまなし暮らし支援センター及びやまなしU I ターン就職支援センターにおける就職相談等				
○ 県内企業等との連携によるU I ターン就職につなげる機会の拡大				

5 技術系人材の育成・確保

(施策の目指す姿)	
<p>&lt;現在&gt;</p> <p>製造業や情報産業等の様々な分野において、技術系人材が不足している状況にある。</p> <p>H31 産業技術短期大学校、峡南高等技術専門校、宝石美術専門学校の定員充足率 83.3%</p>	
<p>&lt;将来&gt;</p> <p>技術系人材の育成が進み、様々な分野において人材が確保されている。</p> <p>R4 産業技術短期大学校、峡南高等技術専門校、宝石美術専門学校の定員充足率 88%</p>	
(施策の概要)	
<p>本県産業を支える技術系人材を育成・確保するため、産学官が連携して策定するアクションプランに基づく取り組みの推進や産業技術短期大学校、峡南高等技術専門校、宝石美術専門学校における人材育成の充実を図るとともに、機械電子産業関連企業に就職する大学生等の奨学金の返還や産業技術短期大学校等への就学を支援します。</p>	



( 産業人材育成課／地域産業振興課 )

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R1	R2	R3	R4
○ 産学官連携人材確保・育成推進会議におけるアクションプランの策定・推進	 策定・推進	 推進		 策定・推進
○ 産業技術短期大学校、峡南高等技術専門校、宝石美術専門学校における産業人材育成の充実	 実施			
○ 機械電子産業関連企業に就職する大学生等の奨学金の返還支援	 実施			
○ 産業技術短期大学校等への就学支援 (就学給付金の支給、入学料・授業料の免除)	 実施	 拡大 (入学料)		

6 情報通信業を支えるICT人材の確保・育成

(施策の目指す姿)	
<p>&lt;現在&gt;</p> <p>山梨県内の大学等でICTの知識を身につけた優秀な学生の多くが県外企業へ就職し、県内ICT企業において人材が不足する状態が続いている。</p> <p>H30本事業のインターンシップ受入企業数10社</p>	<div style="text-align: center; font-size: 2em; color: blue;">➔</div> <p>&lt;将来&gt;</p> <p>県内大学等に在学する学生が県内ICT企業に就職することにより、人材が強化されている。</p> <p>R4 本事業のインターンシップ受入企業数15社</p>
(施策の概要)	
<p>県内大学等に在学する学生の県内就職を促進するため、インターンシップの実施により県内ICT企業の魅力を伝える機会を提供するなど、産学官が連携してICT人材の育成に取り組みます。</p>	

( 情報政策課 )

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R1	R2	R3	R4
○ 県内ICT企業でのインターンシップ				
○ 県内ICT業界の現状や将来展望等を伝えるセミナー等				

7 農業の多様な担い手の確保・育成

(施策の目指す姿)	
<現在> 本県の新規就農者数は3年連続で300人を超えたが、依然として農業就業人口の減少や農業従事者の高齢化が進行している。 H30 新規就農者数 303人/年	<div style="text-align: center; font-size: 2em; color: blue;">➔</div> <将来> 新規就農者や企業などの多様な担い手が十分確保され、本県農業の維持・発展が図られている。 R4 新規就農者数 340人/年
(施策の概要)	
本県農業の維持・発展に向け、多様な担い手を確保・育成するため、県内外での就農相談会の開催、就農希望者への技術習得研修の実施、更に基盤及び施設整備支援等による企業の農業参入を促進します。	

担い手・農地対策室／畜産課  
( 農村振興課／耕地課 )

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R1	R2	R3	R4
○ 就農希望者への相談会の開催、支援制度の活用PR	➔			
開催・PR				
○ 就農希望者への技術習得研修の実施、農地確保等への支援	➔			
研修・支援				
○ 企業の農業参入に向けたセミナーの開催や施設整備等の支援	➔			
開催・支援				
○ 企業の農業参入に向けた基盤整備の推進	➔			
整備				

8 林業の担い手の確保・育成


(施策の目指す姿)	
<p>&lt;現在&gt;</p> <p>林業従事者は長期的に減少し、高齢化が進んでいる。</p> <p>H30 林業への新規就業者数 41人/年</p>	<div style="text-align: center; font-size: 2em; color: blue;">➔</div> <p>&lt;将来&gt;</p> <p>高度な知識と技術を有する林業の担い手が育成され、生産性の高い森林施業が実施されている。</p> <p>R4 林業への新規就業者数 50人/年</p>
(施策の概要)	
<p>林業経営の効率化と適正な森林の管理を一体的に促進するため、経営セミナーの開催などにより意欲と能力のある林業事業体を育成するとともに、技術研修会の開催や人材育成のあり方の検討などにより、高度な知識と技術を身に付けた林業の担い手の確保・育成に取り組みます。</p> <p>また、次代を担う子どもたちが森林や林業に関する理解を深めるため、森林環境教育指導者向けマニュアルの作成や、森林体験活動に取り組む教育機関等に対する支援を行います。</p>	

( みどり自然課/林業振興課 )






具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R1	R2	R3	R4
○ 林業の魅力発信等による新規就業者の確保				
○ 意欲と能力のある林業事業体の育成				
○ 人材育成のあり方の検討や技術研修会の開催等による担い手の育成	検討・実施	実施		
○ 森林環境教育マニュアルの作成、森林体験活動に取り組む教育機関等の支援	作成・支援	支援		



9 建設業の担い手の確保・育成

(施策の目指す姿)	
<p>&lt;現在&gt;</p> <p>建設業は、地域のインフラ整備等の担い手であると同時に、災害時には最前線で地域社会の安全・安心の確保を担う「地域の守り手」として、県民生活や経済活動を支える大きな役割を担っている。</p> <p>建設業従事者の高齢化が進展し、30歳未満の若年者が減少しており、将来の建設業を支える担い手が不足している。</p> <p>H30 就業者の高齢化や若年入職者等の減少が進んでいる。</p>	
<p>&lt;将来&gt;</p> <p>建設産業の担い手が確保されるとともに、就業者の定着や健全な経営の維持によって、良質な社会資本の整備や災害時の安全・安心の確保等地域の維持・発展に貢献し続けている。</p> <p>R4 建設産業の担い手確保・育成の取り組みや生産性向上等により地域の安全・安心が確保されている。</p>	
(施策の概要)	
<p>「地域の守り手」としての役割が期待される建設産業の持続的な発展のため、建設業関係団体等と連携して行う担い手の確保・育成、建設現場における生産性の向上や経営基盤強化等の取り組みを推進します。</p>	

( 建設業対策室／技術管理課 )

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R1	R2	R3	R4
○ 建設業のあるべき将来像の検討	 会議開催			
○ 未来の建設業を担う若年者や女性等の入職・定着の促進	 支援			
○ 長時間労働の是正や i-Construction 等による働き方改革の推進	 実施			
○ 経営基盤強化のための取り組みへの支援	 支援			
○ 産学官連携協議会による施策の推進		 実施		

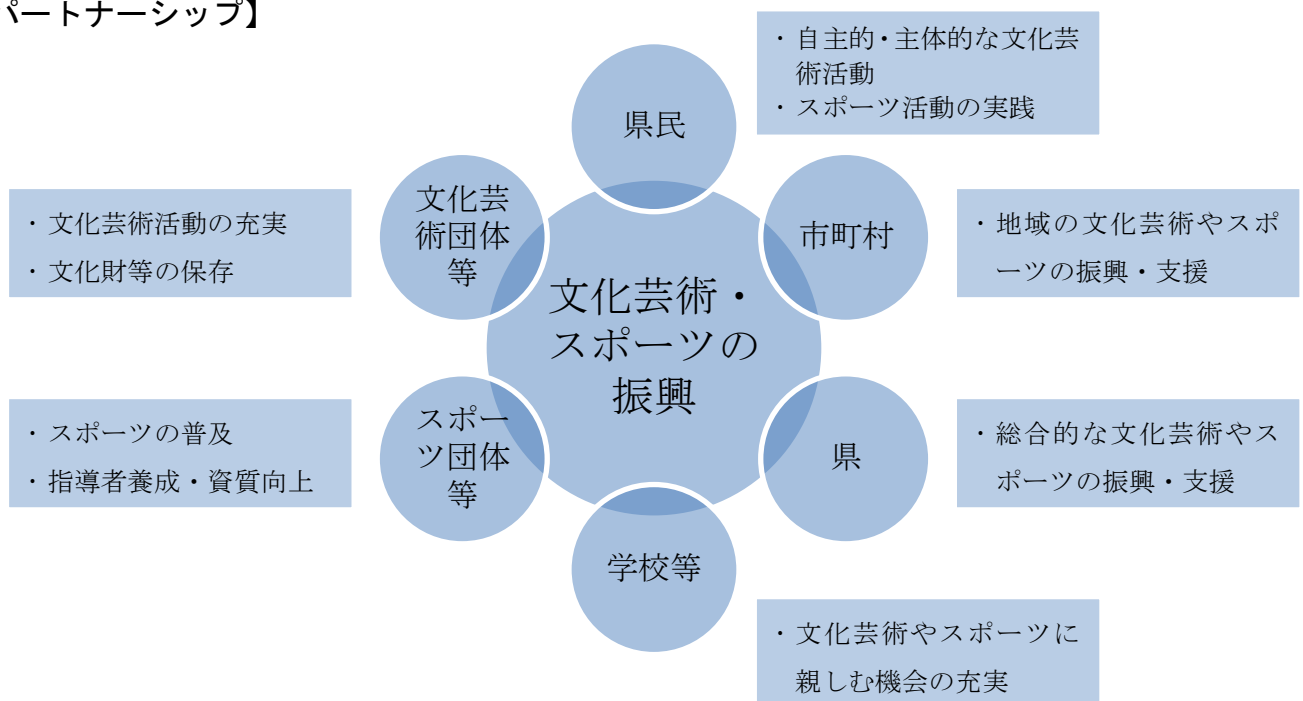
### 政策3 文化芸術やスポーツの振興による可能性の発揮

#### 【政策の基本的な考え方】

子どもたちがこれからの時代を「生きる力」を育むためには、バランスのとれた知・徳・体の育成が必要です。また、生涯を通じて、文化芸術やスポーツにふれあい親しむ機会があることで人生が豊かになり、地域の活性化にもつながります。

このため、学校教育での取り組みに加え、文化芸術基本条例に基づいた文化芸術振興策や、東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機とした取り組みにより、文化芸術、スポーツの振興を推進し、自己の可能性を最大限に発揮して自分らしく豊かに暮らすための地域づくりの実現につなげます。


#### 【パートナーシップ】









#### 【期待される政策効果】

生涯にわたって、文化芸術やスポーツに親しむ機会が充実し、バランスのとれた知・徳・体の育成が図られるとともに、健康で心豊かな生活を送るための重要な要素となっています。


1 文化芸術の総合的な振興

(施策の目指す姿)	
<p>&lt;現在&gt;</p> <p>文化芸術により生み出される多様な価値を生かし、県民1人ひとりの人生を豊かにする取り組みを進めるとともに、地域活力の向上と経済の活性化につなげるため、観光やまちづくり、国際交流等の関連分野と連携した文化芸術振興策について検討を進めている。</p>	
<p>&lt;将来&gt;</p> <p>県立美術館などの文化施設において各館の特色を生かした展示などが行われるとともに、関連分野との連携により、豊かで活力ある地域社会が実現している。</p> <p>R4 観光やまちづくり、国際交流等の関連分野と連携した取り組みが進められている。</p>	
(施策の概要)	
<p>心豊かな県民生活及び活力ある地域社会の実現並びに県経済の活性化に寄与するため、やまなし文化フォーラム・県民文化芸術ひろばの開催などのやまなし文化芸術推進月間（11月）における事業を行うなど、文化芸術の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進します。県立美術館などの文化施設では、特色を十分に生かした企画展などの開催や教育普及事業の実施、展観環境及び資料保存環境の充実を図るなど、幼少期から本物の芸術・文化に触れる機会を提供します。</p>	



（生涯学習文化課／学術文化財課）

具体的な事業	工程表（年度別事業計画）			
	R1	R2	R3	R4
○ 文化芸術推進基本計画（仮称）の策定	 策定			
○ やまなし文化芸術推進月間事業の実施				
○ やまなし県民文化祭の実施				
○ 山梨芸術劇場の開催				
○ 4館及び山梨近代人物館の特色を十分に生かした企画展などの開催等				
○ 4館の適切な展観環境及び資料保存環境の充実				
	検討・実施			

2 文化財の次世代への継承とまちづくりや地域振興への活用

(施策の目指す姿)		
<p>&lt;現在&gt;</p> <p>過疎化や少子高齢化を背景に、文化財の滅失や散逸など次世代への継承が危ぶまれている。</p> <p>H30 文化財保存活用地域計画策定市町村数 0 市町村</p>		<p>&lt;将来&gt;</p> <p>行政や文化財所有者だけでなく、民間団体など多様な関わりによる地域一体の取り組みにより、文化財の保存が図られ、まちづくりや地域振興へ活用されている。</p> <p>R4 文化財保存活用地域計画策定市町村数 14 市町村</p>
(施策の概要)		
<p>文化財の次世代への継承とまちづくりや地域振興への活用を図るため、基本的な方向性を明確にした保存活用大綱を策定するとともに、地域における計画的な文化財の保存と活用の取り組みを支援します。</p>		

( 学術文化財課 )

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R1	R2	R3	R4
○ 「文化財保存活用大綱」の策定	 策定			
○ 地域における文化財の保存と活用の取り組みを支援	 支援			

3 競技力向上の推進

(施策の目指す姿)	
<p>&lt;現在&gt;</p> <p>将来の本県スポーツを支えるジュニア選手の発掘・育成を進めているが、若手指導者が減少しており、国体監督資格者の確保が困難な状況である。</p> <p>令和13年に招致を目指す山梨国体に向けて、県有スポーツ施設の整備・改修について検討をしている。</p> <p>H30 若手指導者を育成・強化している競技団体の割合 24.4%</p>	<div style="text-align: center; font-size: 2em; color: blue;">➔</div> <p>&lt;将来&gt;</p> <p>継続的に中・長期的展望に立ったジュニア選手の発掘・育成・強化ができており、それを支える若手指導者が育っている。</p> <p>また、必要な整備・改修をしたスポーツ施設を活用してスポーツの振興につなげている。</p> <p>R4 若手指導者を育成・強化している競技団体の割合 84.8%</p>
(施策の概要)	
<p>競技人口の増加と競技力の向上を図るため、小中学生の選手の発掘と育成を行う。また、若手指導者に対し、公認スポーツ指導者資格の取得を促す。更に、県有スポーツ施設の基本方針の検討を進めていく。</p>	

( スポーツ健康課 )

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R1	R2	R3	R4
○ ジュニアアスリートの発掘・育成・強化	支援			
○ 指導者の確保・資質向上	支援			
○ 県有スポーツ施設の整備・改修に向けた検討	検討			

4 一人一スポーツの推進

(施策の目指す姿)	
<p>&lt;現在&gt;</p> <p>約2割の人が過去1年間に一度も運動・スポーツを実施していない。このうち、活動場所や機会があれば実施したいと思っている人が約7割いる。</p> <p>H30 スポーツ未実施率 20.3%</p>	<div style="text-align: center; font-size: 2em; color: blue;">➔</div> <p>&lt;将来&gt;</p> <p>幅広い世代が自分に合ったスポーツを選べるように、県やスポーツ関係団体により、気軽に参加できるスポーツ機会が拡充している。</p> <p>R4 スポーツ未実施率 12%</p>
(施策の概要)	
<p>若年期から高齢期までライフステージに応じた生涯スポーツの推進のため、一人一スポーツを実現する具体的方策を示したアクションプランを策定するとともに、市町村や学校、民間のスポーツクラブなどと協力して、生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現します。</p>	



( スポーツ健康課 )

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R1	R2	R3	R4
○ 一人一スポーツアクションプランの策定・実施	策定	実施		
○ 子どものスポーツ機会の充実	実施			
○ ライフステージに応じた生涯スポーツの推進	実施			

5 障害者のスポーツ活動・文化芸術活動等の充実

(施策の目指す姿)	
<p>&lt;現在&gt;</p> <p>過去1年間にスポーツ・レクリエーションを行ったことのある成人の障害のある方の割合は、健常者の半分に留まっており、芸術、文化活動などのアート活動を行う障害者は増えてきているものの、作品を展示・発表できる機会が十分ではない。</p> <p>H30 障害者文化展への出展作品数 1,144 点</p>	<div style="text-align: center; font-size: 2em; color: blue;">➔</div> <p>&lt;将来&gt;</p> <p>障害のある方がスポーツ、芸術、文化活動に参加する機会の充実が図られたことから、障害のある方の社会参加が進んでいる。</p> <p>R4 障害者文化展への出展作品数 1,220 点</p>
(施策の概要)	
<p>障害のある方が心豊かに生きがいをもって生活できるようにするため、障害者スポーツの普及・啓発を図るとともに、「障害者文化展」や、「山梨県障害者芸術・文化祭」などを実施し、文化芸術活動を通じた障害のある方の自己実現・自己表現を支援します。</p>	

( 障害福祉課 )

具体的な事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R1	R2	R3	R4
○ 障害者スポーツ指導員の派遣、障害者スポーツ交流教室の開催				
○ 障害者スポーツ大会の開催				
○ 「障害者文化展」、「山梨障害者芸術・文化祭」の開催	